

要ヶ丘



発行

住所 海士町立海士中学校
〒08514(2)0744

一学期を終えて

校長 濱中 直

「実りのある二学期」を願い、様々な教育活動に取り組み、毎月、校報でお伝えしたとおり、体育面だけでなく、弁論大会、図画展、人権や税の作文コンクール等、文化面で多くの活躍がみられた事を嬉しく思います。

二学期も新型コロナウイルスの影響で、大勢の方々に来校していただくことが難しいため、行事や発表会の簡素化等、制限のある中で教育活動を行うことになりました。しかし、この状況を改革のチャンスと捉え、今学期は校内行事や総合的な学習の時間で、ねらいと活動内容の見直しを行いました。

生徒会活動では、学園祭を体育祭と別日に開催し、それぞれの準備期間を十分に確保することで、本来のねらいである「自主的・実践的な態度の育成」を図りました。学校行事では、今年度中止になった島前音楽会の代替えとして、校内音楽会を実施し、全校合唱だけでなく学年ごとに合唱や合奏を発表する等、新たな取組を行いました。また、三年生の職場体験学習や、一、二年生のふるさと学習では、身近な地域の課題に目を向け、体験や発表に力を入れた学習から、現在、求められている課題解決能力の育成を目指した学習へと移行しました。

今までであったものを変えたり、新しいことにチャレンジしたりすることにはエネルギーが必要です。普段の学校生活でも感染予防対策を行いながらの活動が続き、生徒たち

二学期を振り返って

【一年生】

私が二学期に頑張ったことは音楽会と学園祭の練習です。音楽会の練習では大きな声で感情を込めて歌うことを頑張りました。声がかれることもありましたが、最後まで歌いきることができてよかったです。学園祭ではキヤストではありませんでしたが、劇の始まりで台詞があり、そこを精一杯頑張ったのでよかったです。

〔一年 榊原都和〕

僕は、二学期に二つのことを頑張りました。一つ目は、新人戦です。僕はソフトテニス部で後衛に選ばれ、責任を感じました。結果は負けましたが、自分だけでなく仲間のためにも努力することができました。二つ目はテストです。二学期はワークを何回もやり込み、六時間くらい勉強した日もありました。そのおかげで良い点がとれたのでよかったです。

〔二年 大海 匠〕



1年 ジオパーク学習 in 知夫

【二年生】

私が二学期を振り返って頑張ったと思うことは、運動面です。特に、毎日の体力づくりは自己新記録を目指し、全力で走ってきました。これからも常に全力で走っていきたいです。また、十月からは学校を引っ張っていく立場になりました。しかし、まだまだ積極的に行動できていません。そして、三学期にはたくさん行事があります。そこで、反省を活かして積極的に行動していきたいです。

〔二年 永原莉子〕

二学期の後半からは、二年生が生徒会三役や各専門委員会の委員長などになり、学校を引っ張っていく立場になりました。最初は戸惑っている人がほとんどでしたが、そんな中でも学級内でお互いを助け合い、それぞれが自覚を持って生活できたと思います。三学期になると三年生を送る会など二年生が中心になって行う行事が多くなってくるので、頑張りたいです。

〔二年 福井美里〕



2年 英語 (ジグソー法による授業)



3年 総合 (宮崎県 須木中との交流)

【三年生】

四ヶ月間の二学期は、長いようでとても短かったように感じました。学園祭では三年生が積極的にリードし、どちらも良い劇にすることができました。また、職場体験では初めてのことがばかりでとても大変でしたがこれからの自分にとって良い経験になりました。他にも色々な行事があり、とても充実した二学期でした。三学期は入試があるので、それに向けて頑張っていきたいです。

〔三年 宇野璃音〕

今年は何年よりも行事が少なく、あつという間に終わってしまったなと感じました。しかし、二学期は学園祭や体育祭、校内音楽会などは制限された中で開催され、皆で協力して良いものを作ることができたと思います。三学期は受験があるので、お互いに励まし合いながら受験勉強をしていきたいです。

〔三年 河内理仁〕

校内研究の取り組み

本校は島根県教育委員会の指定を受け、「主体的・対話的で深い学び」を実現するプロジェクト事業に取り組みんでいます。研究対象教科等は「数学科」と「総合的な学習の時間」ですが、すべての教育活動において事業の推進を図ることに伴い、研究主題「学力向上とグローバル人材の育成」に迫ります。去る十一月二十七日には「知識構成型ジグソー法」を用いた一年生の総合的な学習の時間の授業を公開し、多くの方々に参観していただきました。ねらいは「アンケートを作るときに大切にすべきことがわかること」と「他者と協力して、アンケートの改善策を考えることができること」です。研究協議を通して得た学びを今後の研究に活かしていきます。

【能海】



人権学習

今回、日本赤十字社監修の資料をもとに、新型コロナウイルス感染症に関する差別・偏見について考える授業を行いました。今世界では、感染症に対する不安や感染者などへの差別・偏見などが社会問題となつていきます。学校でも感染予防を続けていきますが、新型コロナウイルス感染症には誰もがかかる可能性があることを前提に、どのように行動するのがよいのか考えました。そして、一人一人行動宣言を一階だんだんホールに掲示し、紹介しました。

【古木】

【生徒の感想より】

○周りにコロナにかかってしまった人がいなかったため、差別や偏見などあまり深く考えたことがなかったけど、今回の授業で自分にできることや、他の人の意見が聞けて良かったです。

○この授業を受けていなかったらコロナにかかった人を多分せめていたと思うけど、こういうことはしてはいけないんだと思いました。

○今回の授業で、新型コロナウイルス感染症の差別のことを深く考えてみて、言い出しやすい空気をつくることを意識していきたいなあと思いました。



2年 道徳 授業の様子



生徒の行動宣言

三年生 総合的な学習の時間発表会

今年度は各学年で発表を行いました。三年生は、先行して発表会を行いました。今年度は「課題解決型 職場体験」の発表を行いました。お世話になった事業所の方々に来て頂き、各グループの発表の後に、事業所の方と振り返りを行いました。事前学習・職場体験・事後学習と長期的に関わっていただきました。本当にありがとうございました。

【中本】

今年の総合は各職場からミッションを与えられ、職場体験を通して考えた答えや学んだことについて発表しました。この発表のために昼休憩や朝の時間も準備し、練習してきました。本番では、緊張して焦ってしまいました。ポスターを実際に見せながら発表することで伝えたいことを伝えることができました。後半の振り返りでは事業所の方とお話をし、良かった点や改善点について考えることができました。この活動を通して学んだことを忘れずに今後活かしていきたいです。

【三年 向山 葵】

防犯教室

十二月十七日(木)に、隠岐の島警察署と浦郷警察署から講師をお招きして、講演していただきました。内容は情報モラルについてです。実際に起こった事件や、知らない間に自分たちも被害者や加害者にもなり得ること、それが将来の自分にどんな影響を与えてしまうのか等、警察の方だからこそ語っていただけのお話を聞くことができました。

今ではインターネットを全く使わない人の方が珍しい時代となりました。便利で楽しい反面、危険な犯罪に繋がる可能性があるので、上手に利用できるようにしてほしいです。



【福浦】

避難訓練

今回は緊急地震速報が流れたときの行動訓練と、津波警報が出た場合の第三避難場所である建須佐雄神社への避難訓練を行いました。消防の方々の講評では、速やかに避難することができていたとのことでした。「自分の命を守る」学習です。今後も行っていきたいと思えます。

【川本】

【生徒の感想より】

○頭を守るとき、あわててしまったので、本当にあつた時や訓練の時もこのことを思い出し、しっかりと行動にうつしたいです。

○初めて津波の避難訓練をして、高台の神社に避難しました。津波や地震はいつ起こるか分からないので、しっかり家の人や近所の人に話をしてあげて「自分の命」を守りたいです。

人権作文コンテスト結果

- 【島根県中学生人権作文コンテスト】
- 奨励賞 三年 波多 恩
- 優秀賞 二年 木村優菜
- *隠岐地区大会 三年 波多 恩

三学期SC来校日

三学期の吉村スクールカウンセラーの来校日をお知らせいたします。「話を聞いてもらいたい」「相談したい」という保護者の方からおられましたら中学校までお知らせください。日程調整も可能ですのでお気軽にご相談ください。いずれも午後に来校予定です。

【福浦】

- 一月 十五日(金)
- 二月 三日(水)、十五日(月)
- 二十四日(水)
- 三月 九日(火)、十九日(金)

〜お礼〜

☆海士町更生保護女性会より愛の図書の購入資金として七万円をいただきました。これは地域の皆様の募金による大切なお金です。生徒のための本の購入に充てさせていただきます。☆菱浦郵便局様より子供たちに年賀状をいただきました。



ありがとうございました。